



volunteer 02 / 令和6年9月から開設

こども地域食堂 てげてげレストラン

[新城地区・新城地区公民館]

地域の交流拠点として食堂を開き、
無償で食事を提供しています。

- 対象者 / 子どもから大人まで
- 開催日 / 奇数月の第2土曜日
- 事務局(池田) / 080-8565-4667



特集

食育の秋



volunteer 01 / 令和3年6月から開設

垂水こどもみんな食堂

[牛根地区・牛根地区公民館]

作った弁当を、各市内団体や、必要
としている地域の方々へ、無償で提
供しています。

- 対象者 / 子どもから大人まで
- 開催日 / 毎月第2土曜日
- (代表)川筋貴子 / 090-2079-8587



⑥食堂で食事する子どもたち ⑦提供された食事 ⑧配膳中 ⑨調理するボランティアの方々 ⑩交流しながら食事する地域の方々 ⑪開設記念式典の様子

①作った弁当 ②たくさんの弁当を準備 ③垂水高校生が時々お手伝い ④美味しい弁当を食べる子どもたち ⑤笑顔で地域の方と交流し、弁当を提供

子ども食堂

垂水市には、令和3年から開設さ
れている牛根地区の『垂水こども
みんな食堂』、令和6年9月に新たに
開設された新城地区の『こども地域
食堂・てげてげレストラン』と、2
か所の子ども食堂があります。子ど
も食堂とは、地域住民等による民間
発の取組として無償または安価で栄
養のある食事や温かな団らんを提供
する食堂です。

『垂水こどもみんな食堂』は、「大
人もこどももひとりぼっちをつくら
ない」ことを目指し、市内児童クラ
ブや子育てサロン、外出が難しい等
の理由で弁当を必要とする方々に、
無償で提供しています。

また、『こども地域食堂・てげて
げレストラン』は、「こどもから高
齢者まで、人と人とのつながりを大
事にする、地域の方の居場所となる」
ことを目指し、地域の方々の交流拠
点として食堂を開設しています。

両食堂を取材した際、そこには食
を通し笑顔で地域の方々が交流する
温かい空間が広がっていました。

「食」について考える

過ごしやすい気候の秋は、「読書
の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」
と様々な秋を思い浮かべますが、今
回は「食欲の秋」に関連する「食」
について考えてみたいと思います。

「食」は、私たちが生きていく上
で欠かせない大切なものです。その
ような中で日本における「食」の現
状として、農林水産省(第4次食育
推進基本計画)によると、人口減少
や少子高齢化、世帯構造の変化等に
より、食に関する価値観や暮らしの
在り方も多様化し、健全な食生活を
実践することが困難な場面も増えて
きているとされています。これらの
問題に対し、「食」に関する知識と
「食」を選択する力を習得し、健全
な食生活を実現することができる人
を育てるため、「食育」の様々な取
組が全国で行われています。

本特集では、子どもから大人まで、
食育に関する知識、垂水市の取組を
ご紹介します。今特集で皆様が「食」
について考えるきっかけになれば幸
いです。